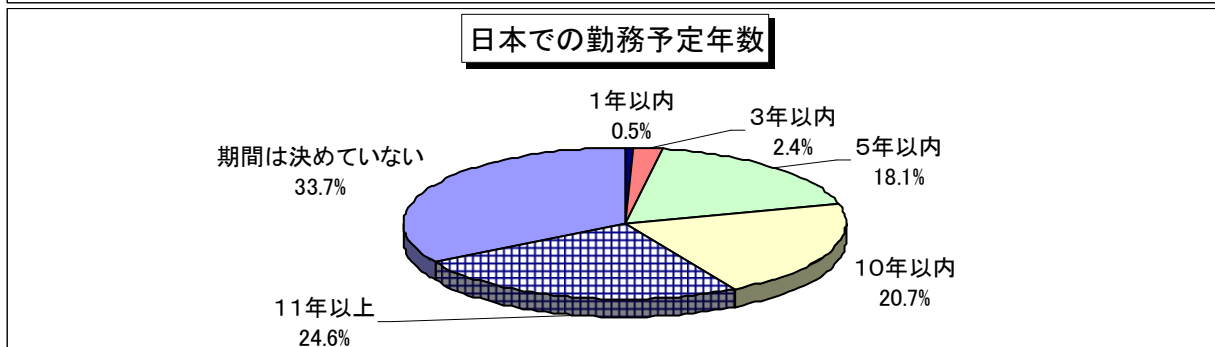
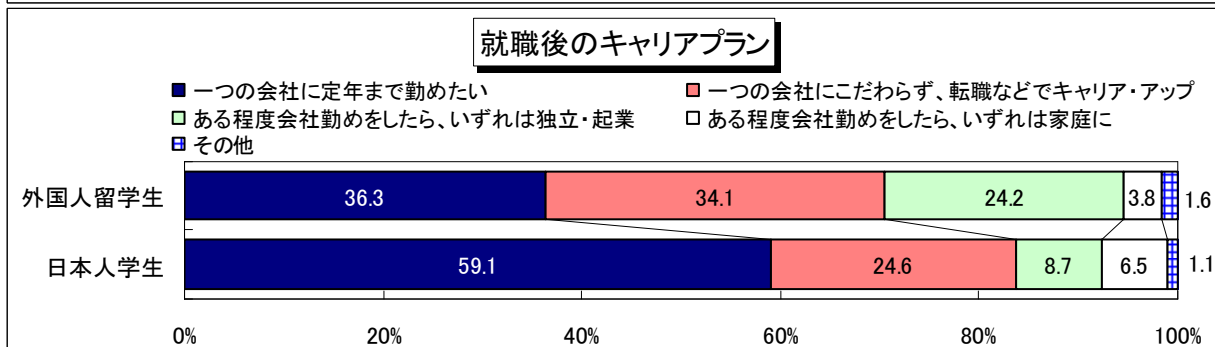
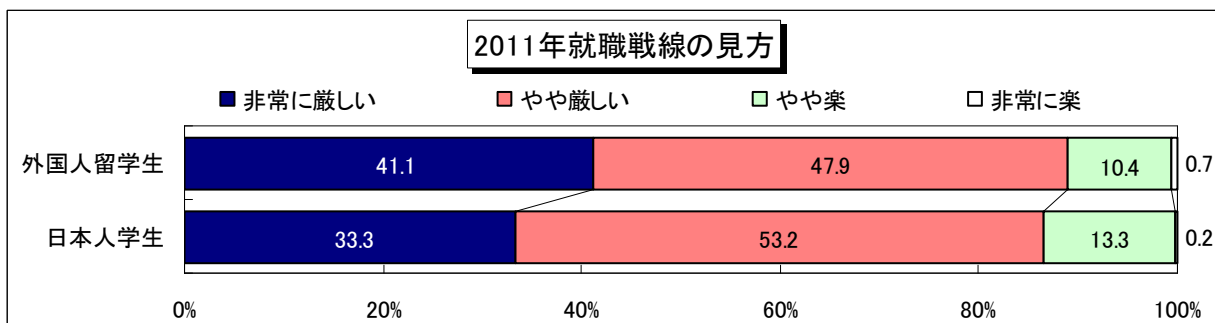


第1回調査

外国人留学生の就職活動状況

1. 就職戦線の見方と就職後のキャリアプラン、日本での勤務予定年数

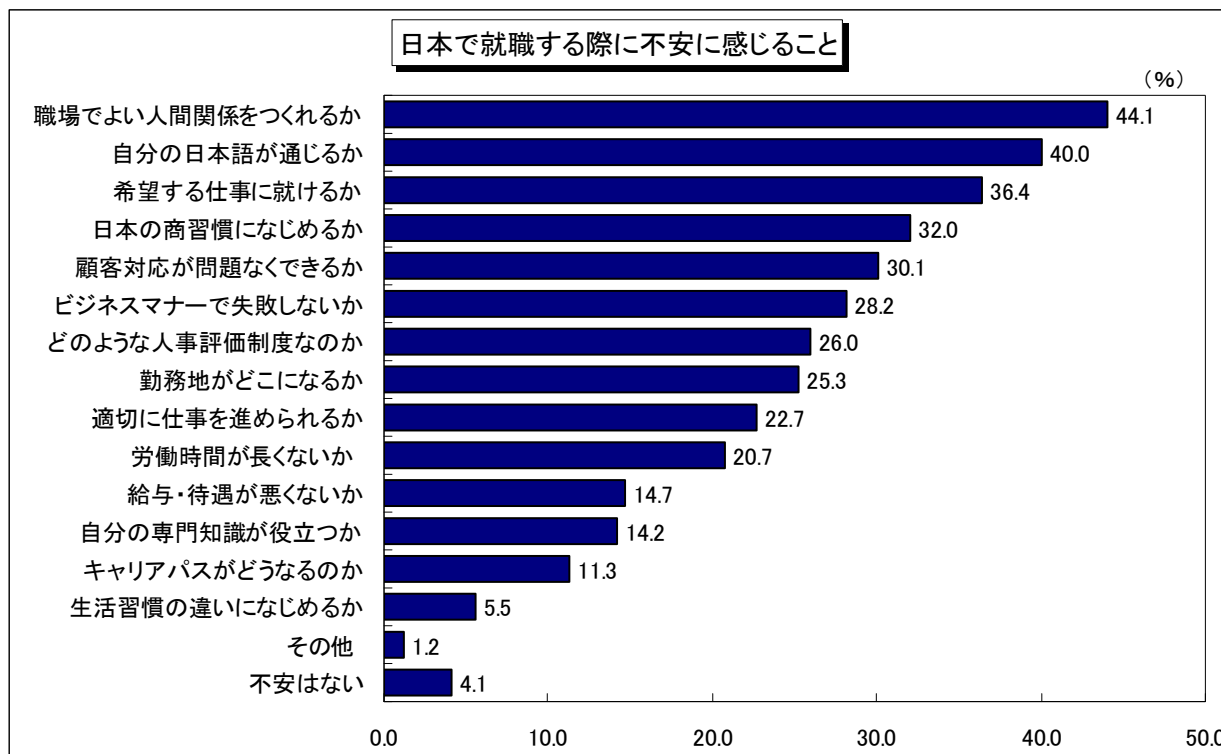
日本の大学に通う外国人留学生（現大学3年生および修士1年生。以下、「留学生」と表記）は、2011年の就職戦線が2010年に比べてどのようになると見ているのか。その見通しを聞いたところ、「非常に厳しい」41.1%、「やや厳しい」47.9%と、あわせて89.0%が厳しいと回答。86.5%が厳しいと答えた日本人学生と、ほぼ同様の認識であることがわかる。一方で、企業のグローバル採用の拡大を背景に、「やや楽」とみる回答も1割強存在する。就職後のキャリアプランについては、「一つの会社に定年まで勤めたい」が36.3%で最多となったが、日本人学生の59.1%とは大きな開きがある。「いずれは独立・起業したい」留学生は、日本人学生の8.7%に対し24.2%と4人に1人にのぼり、中国など新興国学生を中心に独立志向は旺盛だ。こうした傾向を反映し、日本での勤務予定年数を5年以内と考えている留学生の合計は2割強、10年以内の合計では4割を超える。



※「日本人学生」の数値は、「第1回日経就職ナビ 学生モニター調査」(2010年11月実施)のもの

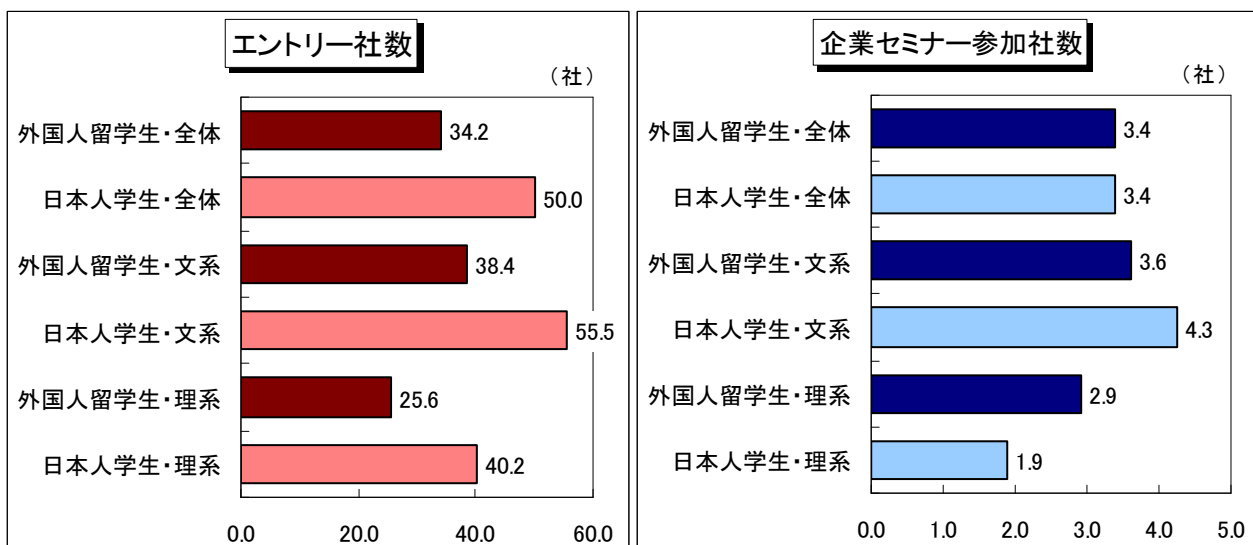
## 2. 日本で就職する際に不安に感じること

日本で就職する際に不安に感じることで、最も多かったのは「職場でよい人間関係をつくれるか」で44.1%。以下、「自分の日本語が通じるか」40.0%、「希望する仕事に就けるか」36.4%、「日本の商習慣になじめるか」32.0%と続いた。仕事や待遇に対する不安よりも、やはりコミュニケーション面での不安の方が大きいようだ。



## 3. 企業へのエントリーと、セミナー参加の状況

11月下旬時点で企業に「エントリーした」留学生は全体の89.4%と9割に迫り、エントリーをした留学生一人あたりの平均社数は34.2社にのぼる。企業単独開催のセミナーへの参加社数にいたっては、日本人学生と同じ3.4社となっており、活動量の面ではまったく遜色ない。日本人学生と同じ土俵で就職活動に臨む、積極的な留学生が多く回答している点を差し引いて見る必要があるが、就職難への危機感、留学生を活発な就職活動へと駆り立てているようだ。



#### 4. 現時点での志望業界

11月下旬時点の志望業界を、40業界の中から5つまで選んでもらった。

全体では「商社（総合）」が50.9%で群を抜き、多くの企業がグローバル人材の採用を打ち出した「電子・電機」が28.9%で続く。また、今年7月の中国人向け個人観光ビザ発給要件の緩和等もあり、外国人観光客への対応が急務になっている「ホテル・旅行」が20.9%で3位となった。

「商社（総合）」、「電子・電機」は、文系・理系を問わず人気が高い。一方、日本人学生に最も多く選ばれた「銀行」は4位に、さらに2位の「エネルギー」が24位にとどまるなど、志望業界の違いは鮮明だ。

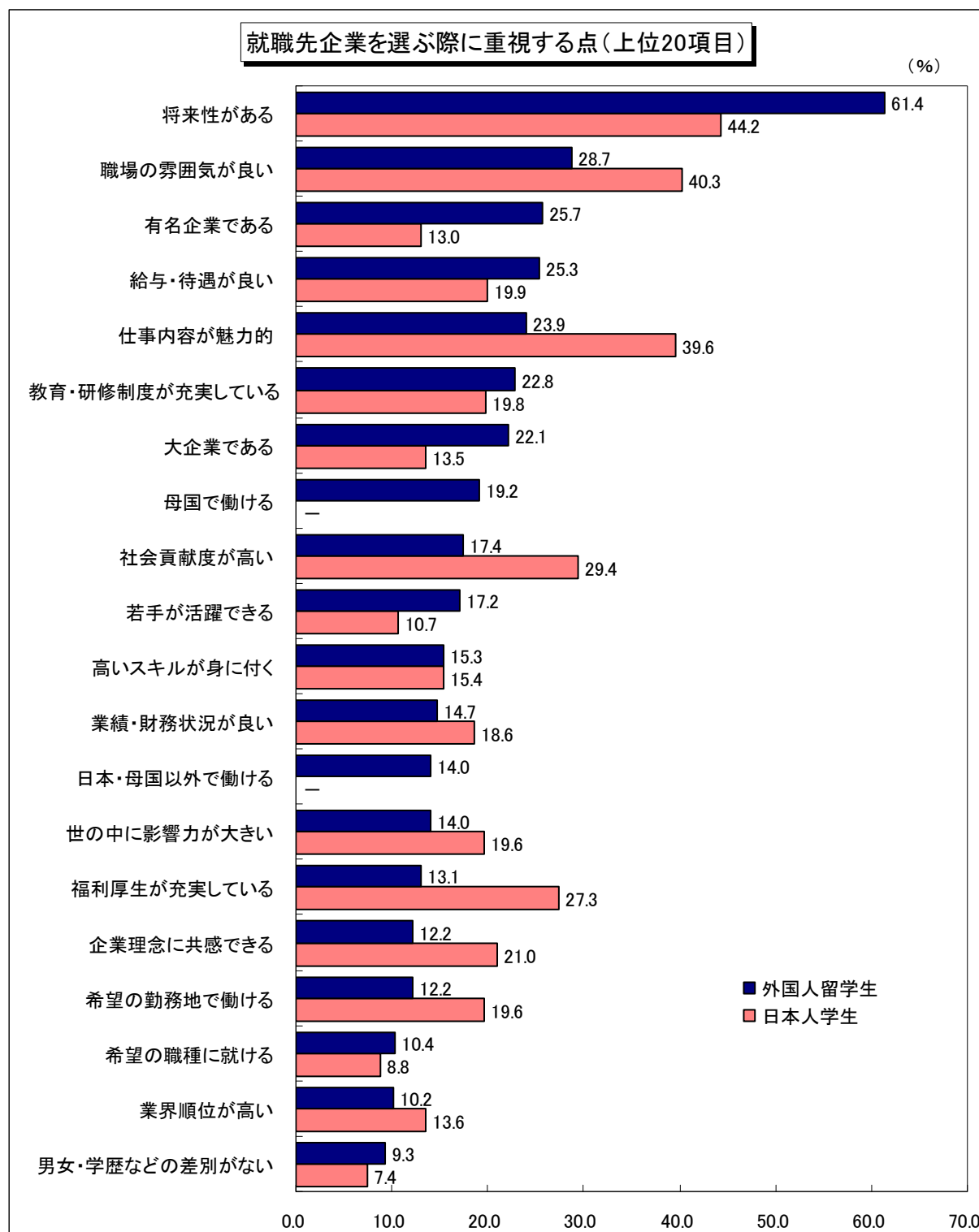
#### 志望業界（上位20業界）

※5つまで選択（%）

	外国人留学生・全体	日本人学生・全体	外国人留学生・文系	外国人留学生・理系
1	商社（総合） 50.9	銀行 32.8	商社（総合） 63.5	電子・電機 35.0
2	電子・電機 28.9	商社（総合） 23.4	ホテル・旅行 27.7	商社（総合） 24.8
3	ホテル・旅行 20.9	エネルギー 20.7	電子・電機 26.0	情報・インターネットサービス 24.1
4	銀行 18.7	水産・食品 19.9	銀行 21.4	自動車・輸送用機器 23.4
5	情報・インターネットサービス 17.1	マスコミ 19.5	商社（専門） 20.7	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 23.4
6	商社（専門） 16.6	電子・電機 17.8	マスコミ 19.6	機械・プラントエンジニアリング 19.0
7	マスコミ 15.6	保険 17.4	証券・投信・投資顧問 17.5	医薬品・医療関連・化粧品 17.5
8	調査・コンサルタント 15.2	医薬品・医療関連・化粧品 17.1	調査・コンサルタント 17.5	精密機器・医療用機器 17.5
9	証券・投信・投資顧問 14.5	建設・住宅・不動産 16.0	情報・インターネットサービス 13.7	通信関連 15.3
10	医薬品・医療関連・化粧品 13.5	情報・インターネットサービス 14.4	水産・食品 11.6	素材・化学 13.9
11	自動車・輸送用機器 13.3	調査・コンサルタント 14.1	医薬品・医療関連・化粧品 11.6	銀行 13.1
12	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 12.6	素材・化学 13.7	建設・住宅・不動産 10.9	建設・住宅・不動産 12.4
13	建設・住宅・不動産 11.4	官公庁・団体 13.0	自動車・輸送用機器 8.4	鉄鋼・非鉄・金属製品 10.9
14	水産・食品 10.9	運輸・倉庫 12.5	保険 8.4	調査・コンサルタント 10.2
15	素材・化学 8.1	商社（専門） 11.7	教育 8.1	水産・食品 9.5
16	鉄鋼・非鉄・金属製品 8.1	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 11.6	エンターテインメント 7.7	証券・投信・投資顧問 8.0
17	精密機器・医療用機器 8.1	証券・投信・投資顧問 11.4	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 7.4	商社（専門） 8.0
18	機械・プラントエンジニアリング 7.8	信用金庫・労働金庫・信用組合 11.0	運輸・倉庫 7.0	エネルギー 7.3
19	通信関連 7.3	自動車・輸送用機器 11.0	鉄鋼・非鉄・金属製品 6.7	マスコミ 7.3
20	教育 6.9	機械・プラントエンジニアリング 10.8	OA機器・家具・スポーツ・玩具他 6.0	ホテル・旅行 6.6

### 5. 就職先企業を選ぶ際に重視する点

就職先企業を選ぶ際に重視する点を、31項目の選択肢の中から5つまで選んでもらった。最も多かったのは「将来性がある」で61.4%。日本人学生の44.2%を20ポイント近く上回る。以下、「職場の雰囲気が良い」28.7%、「有名企業である」25.7%、「給与・待遇が良い」25.3%と続く。日本人学生にはあまり重視されなかった、「大企業である」も2割超が選ぶなど、留学生の貪欲な姿勢が感じられる。



## 6. 就職活動および企業研究で知りたいこと

就職活動の仕方に関して知りたいことを聞いた。1位は「面接試験対策の方法」で71.0%。以下、2位「筆記試験対策の方法」65.4%、3位「エントリーシートの書き方」64.9%と続く。日本人学生への調査でも常に上位に入る項目ではあるが、日本語を母国語としない留学生たちにとっては、より大きなテーマといえる。

企業研究をする上で知りたい情報については、「外国人留学生の採用実績」が88.4%と、9割近くにのぼっている。「留学生応募可」となっているにもかかわらず、実際に採用しているのかわからない（文系男子）といった声が多く見られ、2位の「社内の雰囲気」49.1%とは40ポイント近い開きがあることから、その切望度の高さがわかる。

就職活動の仕方に関して知りたいこと

(%)

	全体	文系	理系
面接試験対策の方法	71.0	70.4	72.4
筆記試験対策の方法	65.4	68.0	60.0
エントリーシートの書き方	64.9	63.6	67.6
自己分析の仕方	47.7	48.5	46.2
企業研究の仕方	41.0	41.1	40.7
OB・OG訪問の仕方	33.9	34.7	32.4
業界研究の仕方	33.7	33.3	34.5
身だしなみ・マナー	32.4	33.3	30.3
職種研究の仕方	28.7	30.6	24.8
就職活動の流れ	20.4	21.2	18.6
就職課（キャリアセンター）の利用の仕方	15.6	15.5	15.9
その他	0.7	1.0	0.0

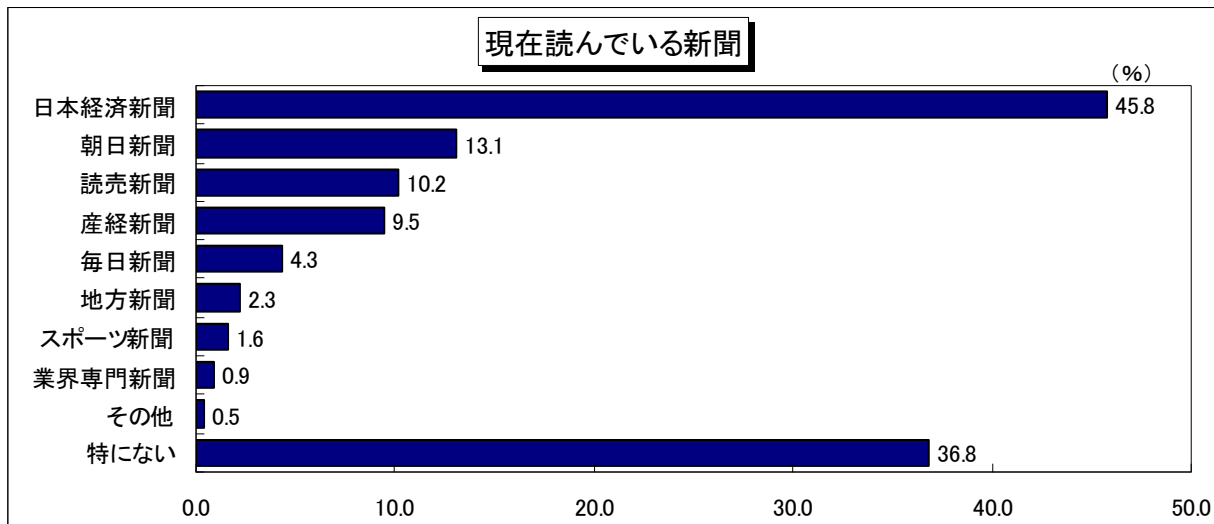
企業研究をする上で知りたい情報

(%)

	全体	文系	理系
外国人留学生の採用実績	88.4	89.8	85.3
社内の雰囲気	49.1	50.2	46.9
実際の仕事内容	45.7	46.1	44.8
求める人材像	44.3	44.7	43.4
採用予定人数	38.1	37.6	39.2
採用スケジュール	37.7	36.9	39.2
女性の活躍度	30.6	35.3	21.0
教育・研修制度	27.2	24.7	32.2
経営者の考え・ビジョン	26.9	30.2	20.3
採用方法やプロセス	26.0	24.4	29.4
福利厚生	23.3	22.4	25.2
企業に対する客観的評価	21.5	24.1	16.1
人事評価制度	21.2	22.0	19.6
給与体系	21.2	21.7	20.3
離職率	19.4	20.3	17.5
企業の弱点	18.5	23.4	8.4
転勤・異動状況	17.1	17.6	16.1
忙しさ	16.9	15.3	20.3
業界内での位置付け	14.8	14.9	14.7
キャリアパス	12.6	12.9	11.9
その他	0.7	0.3	1.4

## 6. 現在読んでいる新聞

留学生の新聞読率は何れくらいなのか。現在読んでいる新聞を聞いたところ、約6割が何らかの新聞を閲読しており、そのうち45.8%、約半数が日本経済新聞を読んでいた。就職活動に役立つ新聞として、留学生にも認知されているようだ。



### ■就職活動に関して思うこと

- 日本の就職活動はプロセスが特殊すぎて、なかなか理解できません。外国人留学生にとっての就職活動は情報や文化理解との戦いです。 <文系女子>
- 不景気だというのは皆に与えられた同じ条件。外国人留学生だということは、武器にもなりえるので、周囲のネガティブな情報に惑わされず、自分がどんな人間で、どんなことができ、どんなことをしていきたいのかをしっかりと認識し、就職活動を続けたい。 <文系男子>
- 私費留学生で、学業・アルバイトを両立させるだけで十分大変でした。これ以上アルバイトもできないので、就職活動も加わると金銭的にピンチです。 <理系男子>
- 日本の学生は弱すぎる。まともに人と話せない人が多いし、何よりも積極性がない。世界有数の経済大国なのに、学生たちはその気概がない。日本の学生にも頑張ってもらいたいです。 <文系男子>
- 留学生を採用しているかどうか気になります。勝手にエントリーしていいのか…。 <文系女子>

### 《調査概要》

調査対象：2012年3月卒業予定の外国人留学生（大学3年生、大学院修士課程1年生）  
 調査方法：インターネット調査法  
 調査期間：2010年11月24日～12月6日

回答者の属性 単位：人

	男子	女子	合計	大学院	学部	合計	国公立	私立	合計
文系	94	204	298	243	200	443	197	246	443
理系	81	64	145						
合計	175	268	443						

### ●出身国・地域

中国	韓国	台湾	東南アジア	南アジア	中央アジア	北欧	北米	合計
325	52	29	31	2	1	1	2	443

◆本資料に関するお問い合わせ先：03-5804-5505 / 株式会社ディスコ 調査広報室